

TOURISM SCOPE

2018. Vol. **41**
ISSN 1739-5089

The Official Magazine of the Tourism Promotion Organization for Asia Pacific Cities



Tsunoshima-ohashi Bridge, Shimonoseki City, Japan



14TH INTERNATIONAL TRAVEL EXPO

6 – 8 SEPTEMBER 2018
SAIGON EXHIBITION & CONVENTION CENTER
HO CHI MINH CITY, VIETNAM

Your Gateway to Tourism in Asia



- ORGANISED BY**
- Vietnam National Administration of Tourism
 - Ho Chi Minh City Department of Tourism
 - VINEXAD Trade Fair & Advertising JSC
 - Informa Exhibitions

- SUPPORTED BY**
- Ministry of Tourism, Cambodia
 - Ministry of Information, Culture and Tourism, Lao PDR
 - Ministry of Hotels & Tourism, Myanmar
 - Ministry of Tourism and Sports; Kingdom of Thailand

- ENDORSED BY**
- Ministry of Culture, Sports & Tourism, Vietnam
 - People's Committee of Ho Chi Minh City



www.itehcmc.com

International.Travel.Expo @ ITE.HCMC

Contents



02 Special Theme
パーフェクトな休みを過ごすための選択
タイプイン



06 City Inside
活気とゆとりが共存する都市
ホーチミンシティーツアー



10 Focus On
2タイプの旅を楽しむ全州トリップ



14 Concept Travel
世界のシュノーケリングスポット6

18 TPO People
下関市市長 前田晋太郎
関門海峡に接した街下関市の魅力を語る

20 TPO News
TPO ニュース

22 Festival Calendar
TPO 都市会員の祭りカレンダー

Tourism Promotion Organization for Asia Pacific Cities

アジア太平洋都市観光振興機構(以下、TPO)は、アジア・太平洋地域の都市のネットワーク化を図り、観光産業を発展させる目的で創設された国際観光機構です。2018年5月現在、86の都市と、観光産業関連協会、研究機関、観光地のマーケティング機関(DMO)など、45の民間団体が会員登録しており、観光産業の活性化に向けて、会員都市間の観光産業に関する情報交換や、観光商品開発、共同マーケティング事業、観光分野の教育及び人材育成事業などの活動を展開しながら、アジア太平洋の都市観光開発に取り組んでいます。



Tourism Promotion Organization
for Asia Pacific Cities

パーフェクトな休みを過ごすための選択 タイピンTaiping

一度も訪れない人がいても、一度しか訪れない人はいないといわれる魅惑の旅行地、マレーシア。その魅力に迫ろうと夏休みはタイピンへ行き、ガイドブックに載っていないような場所を訪れ、タイピンの自然と歴史に思う存分触れてきた。旅を終えて、マレーシア旅行はどうだったかと尋ねられ、その時に思った。短い言葉ではいい表せない国、マレーシア。その質問の答えを探しに、2回目の旅へ行かなければならないと。

構成 コアラ 写真 イヒヨソン(フリーカメラマン)



タイピン旅行情報

位置 マレーシアペラ州西部にある都市。マレー半島の南西部、イポーの北西48kmにある。面積 186.5km² 人口 191,104人 気候 一年通して高温多湿な熱帯雨林気候に属し、年間平均気温は27度。雨季の10月から2月はとりわけ高温で、じめじめしている。雨もよく降る。概要 19世紀は錫の一大生産地として栄え、ペラ(Perak)州の首都でもあった。幹線道路と鉄道が通るマレー半島西部の商業都市。海岸の低湿地帯から約20kmのところにある内陸で、バックにはヒジャン山(1,448m)がそびえている。かつては、キンタ溪谷など錫鉱山一帯で錫産業が栄えていたため、中心部として繁栄した。

マレーシアの隠れた宝石 タイピン

タイピンとは、「永遠に平和な都市」との意味。その言葉通り、手あかのついていない大自然や、素朴な村の人々が旅行者を出迎えてくれる。19世紀は錫の生産地として、またイギリス軍の植民地として、繁栄と傷の両方を経験した都市。その深い歴史の分だけ多様な姿が残るタイピン。その魅力は果てしない。



高原にあるリゾート地ブキッラルート Bukit Larut

高さ1035メートルにおよぶタイピンきっての高原。1884年にイギリス人官僚ウィリアム・エドワード・マックスウェル(William Edward Maxwell)によって発見され、その美しい自然を生かした散策路や高原リゾート地が開発されたことから、広く知られるようになった。かつて、ブキッラルートが「マックスウェルの丘(Maxwell Hill)」と呼ばれたのはこうした理由からだ。

ブキッラルート高原リゾートは、標高1250メートルに位置するマレーシア最古の山頂に位置する施設だ。入口から山頂までは約13キロ。中には歩いていく冒険好きの旅行者もいるが、マレーシアは気温、湿度ともに高く、体力を消耗しがちなので、入口に用意されているランドローバーを利用し、オフロードを楽しみながら頂上まで向かうのがおすすめ。急な坂道が多く、でこぼこしているが、頂上までいくと、美しく平和な草原を目にすることができる。足元は緑で覆われたブキッラルートの全景が広がっているほか、天気が良ければ、はるか遠くの海岸線まで見渡すこともできる。

住所 Pegawai Penjaga Bukit Larut, Perak, 34000 Taiping



野生動物の楽園タイピン動物園 Zoo Taiping

マレーシアで最初にできた動物園。タイピンといえばタイピン動物園といわれるほど有名なスポットだ。14万平方メートルにおよぶ広大な敷地で、動物がストレスを受けず、のびのびと暮らすことを最優先に運営されていることから注目が集まっている。一般的な動物園とは異なり、動物のショーがないのも特徴。ショーの訓練を受ける過程が、動物は最もストレスを受けるからだ。自然環境に出来る限り近くした「サバンナ」エリアでは、実際のサバンナのようにキリンやシマウマ、ダチョウなどは共存している様子を見ることができる。柵や網、ガラスの壁などを設置はしているものの、最小限にしたり低くしたりしているため、動物と人間の距離も近い。そのような意味では、動物を見物するというよりも、共に遊ぶという表現のほうが合っているかもしれない。マレーシア虎やオランウータンなど、現地の動物をはじめとする約150種類のアジア、アフリカの動物や鳥類を見ることができる。園内にはカートが用意されているので、動物園は広大だが、隅々まで見て回ることも可能。ゆっくり歩きながら見学するのもいいが、蒸し暑い日はカートを利用するのがおすすめ。都市に近いので、アクセスも便利だ。

住所 Jalan Taman Tasik Taiping, 34000 Taiping, Negeri Perak



マレーシアの歴史を網羅ペラ州立博物館 Perak Museum

1883年に設立された、マレーシアで一番古い博物館。ペラに居住したイギリス人博物学者ヒューロー(Hugh Low)の収集品をはじめ、ペラ州はもちろんマレーシアの芸術品や文化品、動物の剥製などが観覧できる。展示空間は、自然ギャラリー、文化ギャラリー、先住民ギャラリー、屋外ギャラリーなど、4つのパートに分かれている。自然ギャラリーでは、象や虎をはじめとするペラのジャングルに生息する動物の剥製が鑑賞できる。文化ギャラリーではマレーシア特産物であるクラフト作品から歴史と発展過程までを見ることができる。中でもペラを代表する製品の竹クラフトは必ず鑑賞したい。先住民ギャラリーでは、マレーシアの少数民族「オラン・アスリ(Orang Asli)」の体の特徴や生活様式から、独特の仮面まで、さまざまな展示物が観覧できる。博物館の後方に位置する野外ギャラリーでは、1920~70年代のクラシックカーや、19世紀の蒸気機関車、マレーシア空軍ジェット戦闘機などを展示しており、歴史を感じることができる。

住所 Jalan Taming Sari, 34000 Taiping, Negeri Perak

アクティブに楽しむタイピン

大自然が多いタイピンでは、普通の都市観光地では体験できないようなアクティビティを楽しむことができる。舗装されていない急な坂道のオフロードを四駆で駆け抜けたり、木々が覆われた岩壁をロープ一本で降りたりと、難易度の高いアクティビティも楽しめるので、思い出作りに体験してみよう。



四輪でオフロードを駆け抜ける

ATV Adventure Park Larut

タイピン市内にある動物園を通り、さらにもう少し奥へ行くとATVテーマ公園がある。ATVが楽しめるところは世界のいたるところにあるが、ここは他の場所とは一味違う。舗装されたATV用ロードでなく、手つかずの自然の中を走るコースが用意されているのだ。木々が茂るうっそうとした山中を走ったり、水が流れる溪谷を通ったりとスリリングだ。溪谷を駆け抜ける際の水しぶきや汗などで、コースを走り終えた後は服がぬれてしまうが、余韻も残る非常に人気のアクティビティだ。

住所 Lot 3644, Pejabat Rekreasi, Jalan Bukit Larut, 34000 Taiping, Negeri Perak



SPECIAL THEME



マレーシアのラジオ体操 Taiping Lake Garden

レイクガーデンはマレーシアきっての名所に選ばれる美しい公園。かつて錫の採掘場だったが、憩いの場所としてリニューアルされ、タイピン市民はもちろんのこと、観光客にも人気を集めている。巨大なモンキーポッドが果てなく続いているほか、大きな湖の周りには散歩路も伸びている。タイピンの人々は毎朝、この広い芝生に集まり、日本でいうところのラジオ体操のような運動をしているので、地元の人たちにまぎれて、一緒にマレーシア式体操をするのもおすすめ。簡単な動作のようだが、いつの間にか心地よい汗をかいている。

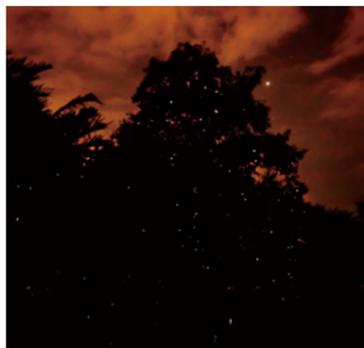
住所 Jalan Pekeliling, Taman Tasik Taiping, 34000 Taiping, Negeri Perak



マーケットで食べ歩き Bazar Cross Street

タイピン市民は週末になると、バザールクロスストリートという大きな市が立つため、多くのタイピン市民が訪れる。歩行者天国になったバザールには、地元の人たちに人気のフードが食べられる屋台から、足マッサージ受けられるがマッサージ店、独特の模様を手や足に描くヘナトゥーショップまで、さまざまなブースがストリートにずらりと並ぶ。中央広場では、ストリートパフォーマンスが開かれ、歌手と観客が一体になって楽しんでいる様子もみることができる。

住所 Jalan Alang Ahmad, 34000 Taiping, Negeri Perak



ホタル鑑賞ツアー— Kampung Dew Fireflies

東南アジアの旅といえばホタル鑑賞が有名だが、ここタイピンでも中心部を横切る川でホタル鑑賞ツアーを楽しむことができる。川の兩岸にはホタルが好むマングロープの木があるため、無数のホタルが飛び交い、美しい光景を見ることができる。ホタル鑑賞ツアーへは、日が暮れたら出発。川岸にある船着き場から小船に乗って1時間ほどまわる。ホタルの光で輝く、天然のクリスマスツリーのようなマングロープをみていると、あっという間に時間が過ぎるだろう。

住所 1, Kampung Dew, 34400 Simpang Empat Semanggol, Negeri Perak

SPECIAL THEME

地元人のようにローカルフードを楽しむ プサットヒブランラートマタン

Pusat Hiburan larut matang

小さな地元食堂が軒を連ねるタイピン式フードコート。ビルの1階に位置している。麺食堂やかき氷店、ロティ店、カフェなど、さまざまなショップが入っており、食事からおやつタイム、ティータイムまで楽しめる場所。価格も一般の食堂に比べるとはるかにリーズナブル。味も良いので、現地の人もたくさん訪れ、広い空間は早い時間から多くの人で込み合っている。外国人はほとんどいないので、タイピンの地元人と同じように朝をスタートさせたい旅行者は利用してみよう。

住所 Jalan Chung Thye Phin, 34000 Taiping, Negeri Perak
営業時間 店によって異なる 価格 麺4-6リンギット、ロティ1-3リンギット



ピリ辛スープが逸品の マクテミーバンジルウダン

Makteh mee banjir udang

マングロープの森の近くに位置するシーフード麺が美味しい食堂。

中でも、海老入り麺料理はこの食堂の代表メニュー。大きな海老が器にたくさん盛られて出るので、ビジュアルだけでも食欲が刺激されるだろう。ピリ辛だが、海老からのいい出汁が出ているので、シーフード好きや辛いもの好きには特におすすめ。ライスを注文すると、各種野菜と一緒に炒飯が出てくるが、これをスープと一緒にいただくのもまた美味しい。

住所 Tebok Matang, 34750 Matang, Negeri Perak
営業時間 10:00~22:00 価格 エビの麺料理15リンギット



マレーシア式かき氷シサンアイスストール— si san ice stall

年中蒸し暑いマレーシアを旅行していると、さっぱりした甘味が恋しくなる。こんな時はかき氷がおすすめ。シサンアイスストールは、屋台かき氷店で、ストリート沿いに位置している。東南アジアに来たら必ず食べたいマンゴーかき氷や、マレーシアスタイルのかき氷アイスカッチャン(ABC)などを味わうことができる。アイスカッチャンは、あずきやとうもろこし、ゼリー、ナッツ類などがのったかき氷の上に練乳とシロップがたっぷりかかった一品で、大人にも子どもにも人気のスイーツだ。

住所 Jalan Panggung Wayang, 34000 Taiping, Negeri Perak 価格 マンゴーかき氷4リンギット、ABC 4リンギット
営業時間 07:00~17:00

時間が証明する タイピンのグルメ店

タイピンには観光名所と同じくらいの歴史を持ったレストランが多い。古びた外観なので、入際には少しためらうかもしれないが、料理を一口いただいた瞬間その迷いはすべて吹っ飛び、すべて平らげてしまうこと間違いなし。価格もリーズナブルだ。



マレーシア伝統料理クワイテオドリ Kuey tiau Doli

オープンして40年になるタイピンのグルメ店。タイピンに来た旅行者が必ず一度は訪れるといわれる有名レストランだ。中華風にアレンジしたおいしいマレーシア料理を出しており、地元の人たちにも人気。代表メニューは麺を炒めたクワイテオゴレン。辛味と甘味が程よくマッチしたソースで味付けしたものだ。カリッと焼き上げたチキンや、炒飯、辛味ソース、甘味ソース、スープがセットになったナシアヤムも人気メニュー。週末は多くの人で込み合い、行列になることもあるので、訪れるなら平日がおすすめ。

住所 5, Regat Tasik, Medan Taiping, 34000 Taiping, Negeri Perak 電話 +60-16-553-8026
営業時間 11:30~23:00 価格 クワイテオゴレン(炒め麺) 8リンギット



活気とゆとりが共存する都市 ホーチミンシティーツアー

ベトナム最大の都市、ホーチミン市。太陽が真っ白なフランス風建物を照りつける中、街に点在する公園は、お昼をのんびり過ごそうとやってきた地元の人たちにぎわっている。大通りをひっきりなしに走るバイクのクラクションは24時間鳴りやむことがなく、新しい高層ビルとビルの間にはきれいなアオザイを着た笑顔の女性たちが通っていく。異国情緒漂う風景と平凡な日常が交差する街、ホーチミン市を歩いてみよう。

構成 コアラ 写真 イヒョンソ(フリーランサー)



ホーチミン市旅行情報

位置 ベトナム南部 **面積** 2095km² **人口** 7,396,446(2010年) **気候** 熱帯モンスーン気候。最低気温25℃、最高気温40℃。5月～11月は雨季、12月～4月は乾季 **概要** ベトナム経済の中心地。都市拡張地域に定めた13区および6区を、現在追加開発中。このほか、クチ(Cu Chi)、ニャベ(Nha Be)などの工業地域、カンザー(Can Giã) マングローブの森・ドンコイ (Đông Nai)川などの生態観光地域、クチカンザーなどの農業生態保存地区、農村居住地域、自然保護地域などに区切り開発している。



ホーチミン市の象徴人民委員会庁舎 Uy Ban Nhan Dan Thanh Pho

「東洋のパリ」と呼ばれるホーチミンに19世紀に建てられた建造物。ホーチミン市人民委員会庁舎は、フランス式建築で重厚感があり華やか。1902年に着工し、1908年に完工。政府機関なので、中は公開されていない。白い大理石の彫刻がある淡いレモン色の壁や柱、左右対称の回廊など、19世紀の建築物らしく繊細で美しい造りになっている。夜はライトアップされ、昼間とはまた異なる雰囲気を出している。原則的に撮影は禁止されているが、少し離れた場所から撮る分にはさほど問題ない。

住所 Số 86 Lê Thánh Tôn, Bến Nghé, Quận 1, Hồ Chí Minh 710212 **電話** +84-28-3829-6052 **開館時間** 07:30-17:00、週末休み **ホームページ** hochiminhcity.gov.vn



ベトナム独立の歴史的な場所統一会堂 Reunification Palace

フランス植民地時代はフランス総督の官邸として使用され、南ベトナム政権時代には大統領府および官邸として使われた。1975年4月30日、北ベトナム軍の戦車が進入しベトナム共和国政府が降参した歴史的な場所だ。ベトナムの現代史を理解する上で重要なホーチミンを代表する観光地とあって、訪れる観光客が後を絶たない。今でもここで政府の重要なミーティングや行事が開催される。ベトナム戦争時、作戦室に使われた地下部屋を見物することができる。

住所 135 Nam Kỳ Khởi Nghĩa, Phường Bến Thành, Quận 1, Hồ Chí Minh 700000 **電話** +84-28-3822-3652 **開館時間** 07:30-23:00 **入場料** 4万ドン **ホームページ** dinhdoclam.gov.vn



美しいフランス式の聖堂ノートルダム大聖堂 Nha Tho Duc Ba

1877年に着工し、1883年に完工したカトリック教会。フランスの植民地時代に建てられた建築物で、フランスから持ち込んだ資材が用いられた。19世紀に建てられた典型的なネオロマネスク様式で、中でも、高くつき上がった2つの尖塔と、広場にある聖母マリア像が印象的。マリア像の目から涙が流れるといわれ、世界から注目されたこともあった。旅行者が必ず訪れるあまりにもよく知られた観光スポットなので、聖堂独特の神聖な雰囲気はあまり感じられない。

住所 Bến Nghé, Ho Chi Minh City



ベトナムで最も大きな郵便局中央郵便局

ノートルダム大聖堂のすぐ前に位置する、ベトナムで一番大きな郵便局。フランスのコロニアル様式の外観が印象的。郵便サービスや国際電話サービスを運営しているほか、切手やハガキの販売も行っている。中に入るとまず目に入るの、ヨーロッパの駅でよく見るようなアーチ型の高い天井。中央にはベトナムの英雄であるホーチミン市の大きな写真が壁一面に掛かっている。

住所 Số 125 Công xã Paris, Bến Nghé, Quận 1, Hồ Chí Minh 710009 **電話** +84-28-3822-1677 **開館時間** 07:00-19:00、日曜日08:00-18:00 **ホームページ** hcmpost.vn



駆け引き必須、ホーチミンのなんでも屋
ベンタイン市場 Cho Ben Thanh

レロイ(Le Loi)通りにあるホーチミン最大の市場。ベトナム関連のものでない物はないといわれるほど、あらゆるものが揃う市場。狭い通路に4000余りの店がぎっしり並んでおり、衣類、靴、カバン、食料品、花、器などが売られている。お土産物をあれこれ探すのもいいだろう。現地の事情にあまり詳しくない旅行者には高値をつけてくることもあるので、お買い物の際の駆け引き必須。建物内の店は夕方7時に閉店するが、同時にナイトマーケットが開かれる。ベトナム料理を売る各種屋台や露店が立ち並び、通りは活気に満ちあふれる。ナイトマーケットの閉店時間は店によって異なるが、通常夕方11時頃まで営業している。

場所 市民劇場から徒歩10分



タワーから眺めるホーチミン市内
サイゴン スカイデッキ Saigon Skydeck

2010年に建てられた地上68階、高さ267メートルのビテクスコ・フィナンシャルタワー(Bitexco Financial Tower)。52階にある円盤状の出っ張りにはヘリコプターが着陸できるヘリポート。都市が一望できるホーチミンの摩天楼とあって、ホーチミン市民や観光客がたくさん訪れる。1秒に7メートル上がるエレベーターに乗り、49階までいくとホーチミン市が360度見渡せるサイゴンスカイデッキ展望台にたどり着く。

住所 36 Hồ Tùng Mậu, Bến Nghé, Quận 1, Hồ Chí Minh
 電話 84-839156-156 営業時間 日~木曜日09:30-21:30、
 金土曜日10:00-22:00 入場料大人20万ドン、子ども
 13万ドン ホームページ www.saigonskydeck.com



ベトナム戦争の歴史戦争博物館 War Remnants Museum

博物館に関心がなければ、やや退屈に感じるかもしれないが、それでもこの戦争博物館だけは必ず訪れたい。ベトナム戦争時、アメリカ情報部の建物があった場所につくられた博物館で、戦争の歴史を記録し、平和を願う場所だからだ。世界各国134人の写真家がカメラに収めたベトナム戦争の悲惨な現場を写真で見ることができる。戦争時に実際に使われた戦車や戦闘機、ミサイルなどの武器や、戦争資料なども展示されている。また、戦時中の様々な場面をリアルに再現した模型も見応えがある。

住所 28 Võ Văn Tần, Phường 6, Quận 3, Hồ Chí Minh 70000
 電話 84-8-3930-6325 開館時間 07:30-18:00 入場料 1万5000ドン
 ホームページ baotangchungtichchienranh.vn



ベトナムのブルーボトルコンカフェ Cong Cà Phê

ハノイで最初にオープンし、現在はホーチミン市やダナンなど、ベトナム中南部の主要都市にまで進出し、注目を浴びているローカルフランチャイズカフェ。コン(Cộng)とはベトナム語で「共同」もしくは「公共」という意味。ベトコンを連想させるが、その通りでカフェのテーマは共産党員。店内のインテリアからスタッフの制服、販売グッズまで、共産主義を表す色で満たされている。人気メニューはココナッツスムージーにコーヒーを入れて作ったドリンク、ココナッツ コーヒー。コーヒーのほろ苦さとココナッツスムージーの香ばしい甘味がうま調和して美味。コーヒーが苦手な人でも毎日飲みに来るほど、やみつきになる味。

住所 2 Mạc Thị Bưởi, Bến Nghé, Quận 1, Hồ Chí Minh 電話 +84-91-181-11-63
 営業時間 07:00-23:00 価格 ココナッツコーヒースムージー・ココナッツココアスムージー6万5000ドン ホームページ www.congcaphe.com

ホーチミン郊外トリップ 南ベトナム解放民族戦線の記録クチ Cu Chi

ホーチミン市 中心部から北西方面へ40キロ離れた場所にあるクチは、ゴムの木の森など、うっそうとした密林が果てしなく続く、とても平和なエリア。しかし、ベトナム戦争最中の1960年代は、ベトコンが広範囲にトンネルを掘って米軍に対抗したという有名な激戦地。現在も残る地下道のうち、2ヶ所が公開されている。旅行者がよく訪れるのは、ホーチミン市から西に約70キロの場所にあるベンドック(Ben Duoc)。全長250キロ以上続くトンネルは、4階構造になっており、塹壕から、寝室、作戦本部、台所、病院施設まで備えている。現在、トンネルの一部が公開されており、実際に中に入ることができる。実弾を使った射撃場が近くにあり、一日中銃声が鳴り響いていることから、戦時中にタイムスリップしたかのような気分になる。実弾射撃は1発あたりUS\$1。

住所 TL15, Phú Hiệp, Hồ Chí Minh, 733814 電話 +84-28-3794-8830
 営業時間 07:00-17:00 ホームページ diadaocuchi.com.vn



2タイプの旅を楽しむ 全州トリップ

後百済の首都だった全州は、朝鮮王朝時代には全羅監營が置かれたところだ。韓国のどの都市よりも韓国伝統文化を保存、継承している全州のさまざまな姿に触れた。歩くのが好きな人はおしゃれストリートのケンニダン通りがおすすめ。

ピクニックを楽しみたい人は全州郊外ドライブへ出かけてみよう。

構成 シムミナ 写真 イグンス(フリーカメラマン)



全州旅行情報

位置 大韓民国全羅北道中部にある市 面積 206.22km² 人口 651,990人(2014年) **気候** 南部内陸型気候に属し、冬はシベリア高気圧の影響で北西風が、春は移動性高気圧にともなう西風が、夏は北太平洋高気圧の影響で南東風が吹く。年平均気温は12.9℃、1月の平均気温は-0.6℃、8月の平均気温は26.1℃、年間平均降水量は1,286mm。 **概要** 全羅北道の行政、教育、文化の中心地であり、都庁所在地。全羅北道は地形的に、盧嶺山脈を境にして東部山岳圏と西部平野圏に分けることができるが、全州はその山間地帯と湖南平野の境界地帯に位置している。

Type 1. ドライブ旅行

車に乗って都心から少し離れた郊外に出ると、自然の氣勢を存分に感じるることができる。全州動物園をはじめ、大きな池がある全州徳津公園、廃工場のイメージを払拭した八福芸術工場など、カップルで楽しめるところが多い。



桜の花びらが舞うロマンチックな動物園

全州動物園

徳津公園からそう離れていない場所に、桜で囲まれた動物園がある。1978年6月にオープンした全州動物園だ。地方の動物園では唯一、トラ、ライオン、キリン、カバ、バッファロー、ロングホーン、ラクダ、チンパンジー、ツキノワグマ、シマウマ、ジャガーなど飼育動物が豊富で、その数なんと103種類610匹余りにもおよぶ。春になると、園内の約350本のソメイヨシノが、1.5キロの美しい桜並木トンネルをつくるため、カップルから家族連れまで多くの人々が訪れる。このほか、見どころといえば、4匹のオオカミが棲む「オオカミの森」。森に柵だけを設置した自然環境に非常に近い野外飼育場になっているのが特徴だ。オオカミは乾いた土手の斜面や崖などに巣穴を掘って過ごし、普段はあまり姿を現さないため、目を凝らしてよく探してみよう。

住所 全羅北道全州市徳津区ソリ路68 **電話** +82-63-281-6759 **営業時間** 3~10月09:00~18:00、11~2月09:00~17:00、アクアリウム09:00~17:30 **入場料** 大人1300ウォン、学生600ウォン、子ども400ウォン **ホームページ** <http://zoojeonju.go.kr>



全州最大の自然公園全州徳津公園

正門の蓮池門をくぐり中に入ると、韓服を着た女性のオブジェが出迎えてくれる。徳津公園きつての見どころは、徳津池に架かった蓮華橋。全長260メートル、幅1.2メートル、高さ16メートルにのぼり、韓国の吊り橋としては最長。揺れる橋を渡たりきると、3階建ての憩いの場、蓮花亭にたどりつく。展望台になっており、どの階からも美しい風景を見ることができる。毎年7月になると、徳津公園では全州蓮花文化祭が開催され、高雅な蓮の姿とその香りを楽しむために、全国各地から多くの人々が訪れる。蓮池の中には歩道が設置されており、蓮が満開の時期は、花の上を歩いているかのような気分を味わうことができる。このほか、蓮花に囲まれた蓮池亭も必ず訪れたい場所。ここから見る約4万㎡の池に咲く100万輪の蓮花の波は圧巻だ。4月3日から10月31日までは、ミュージック噴水ショーも見ることができる。

住所 全羅北道全州市徳津区徳津洞2街1314-4 **電話** +82-63-239-2607 **入場料** 無料





太祖李成桂の肖像画をみる慶基殿

太祖李成桂の肖像画(御真)が見学できるという期待感を胸に、紅箭門、外神門、内神門を順にくぐり、多くの人が集まる正殿へ向かった。御真を奉安している切妻屋根の正殿は、石垣の上に建っている。現在の御真は1999年にクォン・オチャン画伯が模写したものだ。1872年高宗9年に模写した太祖御真はシルクに彩色し、現在は御真博物館の収蔵庫に保管されている。「めでたき場所に建てた宮殿」との意を持つ慶基殿は、朝鮮王朝を建国した太宗李成桂の故郷、全州を象徴する重要建築物だ。1410年太宗10年に創建されたが、1597年の丁酉災乱(慶長の役)で消失、1614年に再建された。緑豊かで古色蒼然な慶基殿は韓服に身を包んだ観光客でにぎわっている。

住所 全羅北道全州市完山区豊南洞3街102 電話 +82-63-298-1330 営業時間 3-5月、9-10月09:00-19:00、6-8月09:00-20:00、11-2月09:00-18:00 入場料 大人3000ウォン、学生2000ウォン、子ども1000ウォン



閉鎖工場の華やかな変身八福芸術工場

3月23日、八福洞鉄道横の閉鎖工場がアートの場に生まれ変わった。かつてカセットテープを生産していた工場を、全州市が買い取り、全州文化財団と共に市民芸術広場にしたのだ。1979年に開業したカセットテープ工場(株)ソレックスは、時代の波に逆らえず1991年に廃業。その後、廃墟となった工場は町の厄介者のように扱われていたが、この度、もとの姿を生かしつつ、リモデリングして、八福芸術工場となった。展示空間の1団地と2団地、13人のアーティストの制作スタジオ、カフェ、アートショップ、コンテナブリッジ、屋上遊び場などで構成されている。工場の煙突は外して、看板として入口に立てかけた。また、灰色のコンクリート壁にはカラフルな現代アート作品が設置されている。このほか、捨てられていたコンテナボックスは建物と建物をつなぐブリッジの役割を果たしている。八福芸術工場では、10名の八福洞住民がスタッフとして常駐。現代アートを簡単かつおもしろく説明する解説士として、またコーヒーを淹れるバリスタとして活躍している。

住所 全羅北道全州市徳津区クレッドウル1ギル46 電話 +82-63-283-9221 営業時間 平日、日曜日10:00-18:00 土曜日10:00-21:00、月曜日休館 ホームページ www.palbokart.kr

人間国宝を称える国立無形遺産院

国立無形遺産院は、展示が開かれる「ヨルリンマル」、大劇場と小劇場を備えた「オルスマル」、教育空間の「チョンスンマル」、宿泊空間である「サランチュエ」、各種セミナーが開かれる「オウルマル」、「ヌリマル」などで構成されている。無形文化財についての知識を深めたいなら、最初に「ヨルリンマル」の常設展示室を見るのがおすすめ。韓紙で装飾された1階の円形展示室では、真鍮製のごはんの器「パンチャコリパブトン」、焼酎を蒸留する甕「ソジュッコリ」、お墓や家の場所を決める際に使用する二十四方位を指す磁石盤「ユンド」など、無形文化遺産の数々が鑑賞できる。また、円形展示室の壁側ではパノラマ映像が上映されている。2月1日にヌリマルにてオープンした「Larchiveumチェクマウル」にも訪れたい。朝鮮第22代王王座の後方に置かれた「冊架図」からインスピレーションを得て設計したという図書館だ。三面ガラス張りになっており、外の景色を見ることが出来る。

住所 全羅北道全州市完山区樓鶴路95 電話 +82-63-280-1400 営業時間 展示室09:30-17:30、月曜日休館 入場料無料 ホームページ www.nihc.go.kr



Type 2. ケンニダン通りをそぞろ歩き

ソウルには「キョンニダン通り」というおしゃれなストリートがあるが、全州にも同じような通りが形成されている。その名も「全州ケクサ通り」と「キョンニダン通り」を掛け合わせた、「ケンニダン通り」。全州の若者たちが運営する店が集まったところで、ひとつとして同じコンセプトの店がないのが特徴。

赤い屋根のフラワーショップ花空間

時代劇のセットのような昔ながらの外観をしており、ケンニダン通りで最も人気のフォトゾーンになっているフラワーショップ。観光客が気軽に記念撮影できるようにと、花空間のオーナー、イジンウォンさんが、店先にベンチを設置したほど。ケンニダン通りに行んでいた朽ちた日本家屋に注目したイジンウォン代表は、全面ガラス張りにリフォームし、花でいっぱいのスペースにした。日本家屋の構造をそのままに改築しているのが特徴。樹齢100年の木をフレームにした大きな鏡、ミシンの脚を再利用して作ったテーブルなど、花をより美しく輝かせる古家具が店内に配置されている。水曜日から土曜日までは、フローリストでもあるイ代表によるフラワーアレンジメント講座が開かれる。クラスの種類は、1~2時間のワンデイコースから1ヶ月の趣味コース、全8回のベーシックコース、全16回の専門家コースまでさまざま。店内は色とりどりの花をはじめ、空間をステキにしてくれる木花、各種ハーブなどであふれている。

住所 全羅北道全州市完山区全州客舎1ギル69 営業時間 11:00-21:00 月曜日休み



一日中居たいホームカフェ

カフェ、オヌルドドググン

2016年11月、全州川の岸辺にオープンした「カフェ、オヌルドドググン」は、ケンニダン通りが注目される前からその存在感を示していた人気の店だ。ソウルで料理講師をしていたキム・ヨンジンさんが、故郷に戻り、中学生の頃からお気に入りだったというメタセコイア通りに夢に描いていたカフェを開いた。インテリアは自ら手掛けたといい、店内には旅行をしながら収集したという小物が並んでいる。窓側の席からは、全州川を挟んで植えられたヤナギとメタセコイアのすてきな並木の風景を眺めることができる。店内では原稿用紙をモチーフにした自身の手作りポストカードを販売したりしているほか、秋になるとメタセコイアの実をお客さんに配ったりもしている。カフェにはコーヒーマシーンは置いておらず、扱うのはハンドドリップコーヒーのみ。そのため、コーヒーが出てくるまでに少し時間を要するが、クリームを言うお客は一人としていない。使用している豆はフェアトレードしたこだわりの有機栽培もの。エチオピアのベベカ農場で栽培しているチョコレートとハチミツの風味がする「ゲイシャ」と、エチオピアのクマル農場から取り寄せているオレンジとワインの風味がする「レインフォレスト」のどちらかがチョイスできる。

住所 全羅北道全州市完山区全州川東路244 タサンビル 電話 +82-70-4233-3676

マッコリパパンアッカン

花のように優雅でうつくしい部屋という意味のパンアッカン。見た目にきれいなおつまみとおいしいマッコリが飲める場所という意味も含んでいる。1年前にオープンしたパンアッカンは、キムドングクさんとペムンジュさんカップルが運営する、レトロインテリアのマッコリパブだ。店内には、色あせたご両親の結婚式写真や小さな柱時計など、芸術家の作品に勝るとも劣らない置物が並んでいる。また、薬局のウッドベンチをウェディングチェアにリフォームして置いているなど、古いものをおしゃれなインテリアに変えるオーナーのセンスが光っている。このほか、道端に捨てられていた螺鈿ダンスの扉だけを持ち帰り、インテリア装飾として白い壁に貼り付けたりもしている。マッコリの器も、ブランドロゴが大きく書かれた1970~80年代のビンテージアイテムを使用しているなど、こだわりが見え隠れする。その時代の雰囲気を出させるような各種雑貨が心を豊かにしてくれるほか、美味しい各種料理がお腹を満たしてくれる。おつまみは、イカがまるごと一匹入った海鮮ネギチヂミと洋風パイに似た「アメリカンチーズ ポテトチヂミ」などがマッコリとよく合い、おすすめ。

住所 全羅北道 全州市 完山区全州客舎1ギル12-3 営業時間 17:00-02:00 月曜日休み、毎週最終日曜日、月曜日休み



Under the Sea

世界のシュノーケリングスポット6

簡単な装備だけで、海の中が鑑賞できるシュノーケリング。特別なスイミング技術がなくても、講習を受ければ誰でも楽しめるウォータースポーツだ。旅行者を魅了するコタキナバル、高雄、三亜、鹿児島、マニラ、巨済島のシュノーケリングスポットを紹介する。

構成 <AB-ROAD> 編集部



 **マレーシア**
水彩画のような海 **マンタナニ島コタキナバル**

コタキナバルを旅行するなら、エメラルドグリーンの海の中を楽しむシュノーケリング体験は欠かせないだろう。サビ島、マヌカン島、マムティック島などの日帰りシュノーケリングツアーが有名だが、時間的余裕があれば、2004年から一般開放されているマンタナニ島がおすすめ。天恵の自然景観を誇るマンタナニ島は、コタキナバルから1時間ほどの距離に位置している。海の中が透けて見える澄んだ海と、まるでアイボリー色のシルクを敷いたかのようなきれいな砂浜は、目にただけで癒されるだろう。マンタナニ島の周辺は浅くて、水温が高いため、シュノーケリングに大変適しているほか、さまざまな珊瑚や、アクアリウムでも見ることができない多種多様な海洋生物も観賞できる。船の中にシュノーケリングの専門装備が用意されており、専門ガイドも同行するので、初心者でも気軽に参加できる。



 **台湾**
エコアイランド **小琉球高雄**

高雄の南に位置する小琉球は台湾唯一の珊瑚礁の島。年中スキューバダイビングやシュノーケリングを体験することができるスポットだ。海亀が観賞できる場所としても人気を博している。

「エコアイランド」に選定された小琉球は、砂浜の掃除に参加した旅行者に「砂浜貨幣」を提供するなど、楽しいイベントを行っている。こうして持続可能な旅をおすすめしつつ環境保護活動に努めている。「砂浜貨幣」は、地元のアーティストがガラスに絵を描いて作ったクーポンのようなもので、島の中の店で割引券として使用できる。こうしたきれいな環境下で、海亀と一緒にシュノーケリングを楽しんだら、きっといい思い出になるだろう。シュノーケリングのあとは、小琉球のシンボルでもある花瓶岩の前で写真を撮ることもお忘れなく。





 **中国**
中国最南端のリゾート地**西島三亜**

中国海南最南端に位置する三亜は、西から東にかけて、三亜湾、大東海、亜龍湾、海棠湾の4つの湾がある天恵のリゾート地。年中あたたかく、美しい浜辺には200余りものホテルリゾートが立ち並んでいる。シュノーケリングをするなら、陸と近く、日帰りでも行ける西島がおすすめ。亀の甲羅のような形をした西島は、都市部からは離れているため、海水汚染が少なく、幻想的な風景ときれいな浜辺が広がっているのが特徴。西島を訪れる旅行者のほとんどは、ウォータースポーツを楽しむことが目的。水深は10~20メートルほどで、美しい珊瑚礁が守られているため、幻想的な珊瑚のパノラマを観賞することができる。このほか、きれいな夕日が眺められるスポットとしても有名。ウォータースポーツやロマンチックな風景をぞんぶんに満喫できる島だ。



 **日本**
神が宿る島**加計呂麻島鹿兒島**

奄美群島の大島郡瀬戸内町に属する加計呂麻島は、温暖な気候と青く美しい海で有名。鹿兒島と沖縄の間に位置する加計呂麻島は、独自の生態系が育まれたところで、「東洋のガラパゴス」と呼ばれている。約1000人の住民が暮らす静かで美しい島内には巨大カジマールがあり、島のシンボルになっている。亜熱帯多雨林に覆われた高さ200メートルの山々が屏風のように連なるこの島で、豊かな森を眺めながら波の声を聞いていると、ここが童話に出てくるような妖精や神々が宿った楽園ではないかと思えてくるほど。限りなく透明に近い海は水温が一定で、年中シュノーケリングを楽しむことができる。河瀬直美監督の映画「少年、少女そして海」のロケ地としても有名。



 **フィリピン**
海洋生物の宝庫**パタンガスマニラ**

フィリピンでシュノーケリングといえば、ボラカイ、セブ、ボホールなどが有名だが、マニラにもそれらに勝るとも劣らないシュノーケリングスポットがある。「竹で作った小船の櫓」を意味するパタンガスはマニラの南に位置している。パタンガスのアニラオはきれいな海と幻想的な夕日が有名な場所で、マニラの富裕層の別荘地としても知られている。コーラルトライアングルの北に位置したパタンガスは世界中の珊瑚の76%、3000種類以上の魚が息する海洋生物の宝庫だ。毎年「アニラオ手中撮影大会」が開催され、世界中から写真家が集まって来ることでも知られる。パタンガスはシュノーケリングだけでなく、スキューバダイビングも楽しめるスポット。世界ダイビングポイント50にも挙げられているシークレットベイ、タツノオトシゴを見ることができるサンビュー、ココナッツポイントなどが人気。



 **大韓民国**
湖のように穏やかな海**ユントルスム巨済**

巨済島にはあまり知られていない秀麗な秘境シュノーケリングスポットが多い。最も人気があるのは、クジラ海水浴場から西方に500メートルの距離にあるユントルスムだ。島の80%が常緑広葉樹で覆われている無人島で、ユン氏の姓を持つ三兄弟が母のために石橋を架けたと伝えられていることから孝行島とも呼ばれている。カヤックに乗っても行けるほど、波が穏やかなので初心者でも気軽にシュノーケリングを習得することができる。マンチ港から出発するシュノーケリングツアーは毎年7月に解禁される。参加人員を少人数に制限しているの、人々で混みあうこともなく、優雅に水中探検することができる。まだあまり知られていないため手つかずの自然を感じることができるのも魅力だ。巨済の青い海とまぶしく輝く日差しが交わった場所で海生物を見学することほど格別なものはないだろう。



関門海峡に接した街 下関市の魅力を語る



下関市長
前田晋太郎

本州と九州を隔てる関門海峡を望む街、下関は、古くから海上、陸上交通の要衝として発展してきた。また、美しい海や新鮮な海産物が堪能できる町としても知られており、年間700万人もの観光客が訪れる。下関の魅力と今後の観光ビジョンについて、下関市長の前田晋太郎さんにお話を伺った。

構成 イ・ジョンファ 資料協力 TPO

まずは、下関市についてご紹介ください。

下関市は、本州の最西端にあり、関門海峡の美しい自然景観や良質な温泉など、豊富な観光資源に恵まれ、年間700万人の観光客が訪れる観光都市です。また、古くから国際貿易港として発展してきた下関港は、現在も港湾物流拠点として韓国、中国への定期航路を有する海上輸送の要衝です。海運業や造船業に加え、高級魚である河豚の取扱量が日本一を誇る国内有数の水産都市であり、水産物の加工販売業者や料理店も多くあります。中でも、唐戸市場は、新鮮なお寿司が食べられることから、日本国内はもちろん、アジア各地からもたくさんの観光客が訪れる話題のスポットです。

下関で必ず訪問してほしい観光地はどこですか？おすすめの観光名所を教えてください。

下関の観光地のうち、最も人気が高いのは、唐戸市場です。週末になると場内には海鮮屋台が立ち並び、多くのお客様でにぎわいます。人気の秘訣は、寿司です。1貫が100円程度からという良心的な価格で新鮮で大きなネタのお寿司が食べられるとあって、大変ご満足いただいています。好きなネタが選べることや、お店の人とコミュニケーションしながらお買い物できることもひとつの体験として楽しんでいただいているようです。また、市場のすぐ隣には市立水族館海響館があります。日本最大級のペンギン展示施設や、世界に数体しかないシロナガスクジラの本物の骨格標本などがあり、海に棲む生物のいきいきした姿を見ることができますよ。このほか、日本らしい風情が感じられる「城下町長府」もおすすめします。1327年に創建された国宝の功山寺や、長府毛利家第14代当主の毛利元敏公が1903年に建てた長府毛利邸などの観光スポットを、ゆっくり徒歩で巡ることができる場所です。町には、土で造られた練塀が続き、お寺や神社、古い建物をリノベーションしたカフェなどが点在しているので、散策をお楽しみいただけます。秋は紅葉が美しく、訪れるのに最もよい季節ですね。

どこの国からの海外観光客が多いですか？

宿泊者数で見ると、韓国からのお客様が最も多く、全体の4割程度を占めています。韓国からは毎朝、下関港に旅客フェリーが着くほか、近隣の北九州空港を利用したお客様も増えています。次に多いのが中国、台湾からのお客様です。2017年以降、急増した中国発着のクルーズ客船のお客様も大変多く、クルーズ客船で下関に上陸したお客様は、昨年およそ10万5千人にのびりました。

近年、下関を訪れた外国人観光客の数や動向について教えてください。

下関市に宿泊した外国人観光客数は、年々増加傾向にあります。直近5年間の推移を見ると、2013年には9,857人でしたが、2017年に



は19,301人と倍増しました。街中では、東アジア圏からのお客様を中心に個人観光客が増えていることを実感します。近隣の北九州空港や福岡空港にLCCが就航し、より気軽にお越しいただけるようになったことが大きな要因ですね。近年では、飲食店や小売店、観光施設で外国語表記や免税対応など、外国人のお客様を受け入れる環境が充実してきています。

外国人観光客にアピールしたい下関が誇る資産は何ですか？

下関が誇る最高の観光資源といえば、海がもたらしてくれる味覚と絶景です。唐戸市場をはじめ、市内のいたるところで新鮮な海鮮料理を召し上がっていただくことができます。中でも「河豚といえば下関、下関といえば河豚」と言われるほど、河豚は日本一のブランドを確立しました。今年は、ここ下関にて日本で初めて河豚食が解禁されてから130年目にあたる年です。長い年月の中で培われてきた確かな技術と、刺身・寿司・鍋物・お酒など質の高いメニューの数々は外国人観光客の皆様にもぜひ味わっていただきたいと考えております。美しい海が堪能できる場所としては、今や日本全国に知られるようになった「角島（つのしま）」をご紹介したいと思います。人口が1,000人程度の小さな島ですが、まるで南国のような透き通ったコバルトブルーの海に、美しいシルエットの橋が架けられた絶景スポットです。若者を中心にここを訪れる人が絶えず、映画やCMの撮影地にも選ばれています。

現在、多くの都市が観光を都市経済の核心としています。下関市は海外マーケティングをどのように行っていますか？

アクセスや地理的特性から韓国・中国・台湾・香港・タイを重要市場と位置づけ、現地での旅行博や商談会、セールスを通じて情報収集及び情報発信を行っています。また、訪日外国人観光客はより広い範囲を周遊される傾向が強いことから、行政単位を越えた広域連携による取り組みに力を入れています。山口県や中国地域全体での取り組みのほか、近隣自治体との連携や、瀬戸内海を囲む「せとうち観光推進機構」にも参加し、共同で視察やメディア取材の受入を積極的に行っています。また、昨年度は、隣の北九州市と共同で、訪日外国人観光客

の動向や嗜好を調査・分析する事業も実施しました。

下関市で開かれる最も重要な観光イベントは何ですか？

下関には3大祭りがあります。一つ目は、1185年に関門海峡で繰り広げられた合戦をモチーフにした「しものせき海峡まつり」です。豪華絢爛な着物に身を包んだ女性たちのパレードや、合戦の模様を再現した海上パレードなどがとりおこなわれます。二つ目は「関門海峡花火大会」です。関門海峡の夏の夜空に1万5,000発の花火が打ち上げられる西日本有数の花火大会です。そして三つ目が「しものせき馬関まつり」です。たくさんの夜市が並び、街全体が賑やかに盛り上がる夏最大の市民祭りです。中でも、約4,000人の踊り手が参加する最終日の平家踊りは圧巻です。

下関市の観光開発のための計画はありますか？

関門海峡沿いのウォーターフロント開発を通じて、今後さらに賑いを創出していく計画があります。また、近年日本を訪れる外国人観光客の間では体験型観光への関心が高まっていますが、下関市の農山漁村が持つ豊かな地域資源を活かして、グリーン・ブルーツーリズム、つまり自然豊かな農山漁村で、自然や美しい景観、伝統文化、地元の人々との交流などを楽しんでいただく観光を推進していきたいと考えています。

TPO活動について提案事項があれば教えてください。

アジア太平洋地域への観光客は増加の一途をたどっており、それぞれの自治体や団体では多くのお客様を呼び込もうと、より一層の努力をされていることと思います。TPOの枠組みを活発な交流の場、情報交換の場として活用し、インバウンド・アウトバウンド双方向での往来を強化していくことを期待しています。



K-CLIP 2018 開催

K-CLIP 2018が8月6日から17日までの12日間、アジア太平洋都市観光振興機構(TPO)事務局と韓国全州市の主催、群山市、益山市、全羅北道、安東市、江華郡、高陽市の後援で、成功裏に開催された。CLIPは、グローバル人材育成を目標にしたTPOの主要事業で、毎年会員都市にて開催されており、参加者は、その開催都市の文化や言語、優れた観光資源に触れることができる行事。今年は韓国の全州市で開催され、マレーシア、ベトナム、中国、アメリカ、カザフスタン、ウズベキスタン、フィリピン、台湾など9ヶ国から42人が参加した。

8月7日の開幕式には、キムスンス全州市長、シン・ヨンソンTPO事務総長が参席し、参加者を歓迎した。この日は、韓国文化、韓国式伝統家屋、韓紙、韓国料理など、全州が持つ韓国文化コンテンツについての特講や、パンソリ、はやしことばを外国語で習う韓国音学習などが行われたほか、全州郷校や全州伝統文化研修院といった韓国伝統教育施設や、韓屋村、慶基殿などを訪問し、全州の歴史文化についての話を聞いたり体験したりした。8日から10日までの3日間は、全州ピビンバやキムチ作り体験、伝統礼儀体験をしたほか、国立無形遺産院展示館や全州博物館などを訪れた。10日の夕方は第4回全州カメク祭りに参加し、カメク文化を楽しんだ。11日から17日までは、TPO会員都市ファムツアーが行われた。

ファムツアー初日は、益山市の弥勒寺跡、コスラク、益山刑務所セット場を訪問。そして群山市へ移動し、主要観光地である時間旅行村と鉄道村を訪れ、近代文化遺産を見学した。また、群山の美しい夜景や歴史文化資源に触れることができる夜間文化プログラム「2018群山夜行祭り」の開幕式にも参加した。翌日は全羅北道庁の後援で任実郡と南原市を訪問。任実ではチーズテーマパークへ行き、チーズ作り体験や試食をしたほか、南原ではパンソリや伽耶琴を体験したり、美術館と広寒楼院を訪問したりした。この日の南原での宿泊先が韓国伝統家屋ホテルだったことから参加者が

ら大きな反響を得た。ファムツアー3日目は安東に移動し、河回世界仮面博物館を見学。また、河回別神クッ仮面劇特別公演も観覧した。4日目は江華郡へ。作業服を着て干潟体験をしたり、夕方から夜間リージュに乗ったりと、忘れられない思い出を作った。最後スケジュールは高陽市にて行われた。高陽市での初日は高揚観光サポーターズ発隊式に参加し、多くの高陽市民と触れ合った。翌日は現代モータースタジオと、K-POPダンス体験などの韓流文化が楽しめるウォンマウントを訪れた。また、スノーパークへ行き、雪ゾリを楽しんだりもした。キンテックスで開催された閉幕式には、コン・ヒソン高陽市新韓流観光課長と高揚コンベンションビューロー関係者、チョ・ヤンホ全州市観光産業課チーム長、チョ・タルリョTPO企画総括部長が参席し、参加者を激励した。閉幕式では参加者が5グループに分かれ、この12日間韓国で経験したことをもとにして制作した映像作品「Korea Through my eyes」を発表した。K-CLIP 2018は、開催都市の全州市をはじめ、TPO会員都市の積極的な支援により、例年以上に参加者の満足度が高かった。なお、参加者が制作した映像作品と行事写真は、TPO公式ウェブサイト(www.aptpo.org)にて公開される予定だ。



ITE HCMC 2018:絶対に見逃せないグローバル旅行イベント

国際旅行博覧会ホーチミン市(ITE HCMC)は近々開幕され、主催者側は今年9月6日から8日にかけてサイゴン・エキジビジョン&コンベンションセンターで300社以上の国際的企業とブランドがブースを設置することを期待している。メコン地域における最大かつ最も確立された年間国際トラベルトレードイベントは現在14回目であり、インバウンド市場とアウトバウンド市場の両方にサービスと製品を提供している。DOT、NTOからの強力な参加者とTPOの確認された参加者には、様々なベトナム各省の観光局(DOT)、アジアトップの旅行先の様々な国家観光機関(NTO)や観光促進団体(TPO)が含まれる。ベトナム各省や都市からは、Ba Ria-Vung Tau, Ben Tre, Binh Dinh, Danang, Daklak, Dong Nai, Dong Thap, Gia Lai, Hai Phong, Hanoi, Khanh Hoa, Lam Dong, Long An, Ninh Binh, Ninh Thuan, Quang Nam, Thua Thien Hue, Tien Giang, and Vinh Longなど30以上のDOTが今年のHCMCに参加する予定である。パイヤーと訪問者はまた、インド観光事業、日本国家観光団体、韓国観光団体、マレーシア観光促進委員会、ラオス情報文化観光省、カンボジア観光省、インドネシア共和国観光省、ミャンマー観光事業、名古屋市、ペナングローバル観光事業、台湾観光局バンコク事務所、東京コンベンションビューロー、タイ政府観光局(HCMC事務所)からのブースを見ることになる。オーストラリア、ブータン、カンボジア、インド、インドネシア、日本、ラオス、マレーシア、ミャンマー、南アフリカ、韓国、台湾、タイ、ベトナムの観光スポットからの出展企業も確認されており、展示すると思われる。

ITE HCMC紹介:2005年に設立されたこのイベントは、ベトナムにおける主な国際観光イベントで、メコン地域ではインバウンドとアウトバウンドの両方のマーケットで最大規模のイベントであり、数百の国際的出展者とホステッドパイヤーを魅了する。文化スポーツ&観光省によってベトナム国内唯一の観光イベントとして認められ、メコン地域の5カ国すべてのツーリズムアライアンスが承認した唯一の旅行イベントである。2017年に開催された前回イベントでは、取引者及び一般訪問者数は合計3万人を超えた。ITE HCMC 2018は、ベトナム国家観光省、ホーチミン市観光局、VINEXAD見本市&広告JSC、インフォーマ展示会が主催する。

www.itehcmc.com



第8回TPOフォーラムでは「スマートツーリズム」がアジア太平洋都市における訪問者の経験を如何に強化しているかを紹介する

ベトナムホーチミン市の市観光当局が6月20-24日に行った2年に一度開催されるForumのための会議では、アジア太平洋地域の急速に発展している都市の観光スポットやサウンドを観光客が楽しむことを技術的進歩が如何に簡単にしているかについての力強い新しい情報を聞いた。第8回アジア太平洋都市観光振興機構(TPO)フォーラムで、トップレベルの講演者は、スマートテクノロジーや人工知能が如何に言語障壁を克服し、チケットを予約し、輸送にアクセスし、レストランの予約を行い、美術館やその他のアトラクションへの行き方を探すことにおいて、訪問者を支援しているかを説明した。行事中にはスマート観光商品博覧会も開かれた。会員都市は広報ブースを設置して各都市の観光商品を現地旅行社に紹介した。このイベントには、6カ国31都市から300名の代表者が集まった。TPOフォーラムは2004年5月に韓国・釜山で創設大会が開かれて、これまでに杭州、ウラジオストク、ペナン、クアラルンプール、全州で開催された。



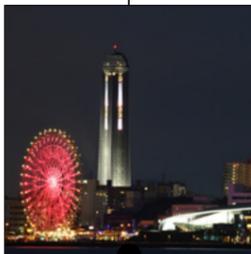


2018第14回ホーチミン市国際旅行博覧会

ホーチミン ベトナム | 9月6日~9月8日

場所 ベトナムホーチミン市7区域
サイゴン展示コンベンションセンター (SECC)

メコン川流域最大規模の旅行博覧会。ホーチミン観光や海外旅行、さまざまな関連サービスとその商品についての展示がなされている。ベトナム各地の観光当局をはじめ、アジア主要観光都市の観光機関や観光振興機構、南アフリカ共和国など、10ヶ国の業者が参加する予定。



関門海峡夜景クルージング

下関 日本 | 9月21日~10月26日

場所 関門海峡 (唐戸出発)

関門海峡を遊覧しながら下関、門司港両岸の夜景が楽しめるクルーズツアー。運行当日、下関市内の宿泊施設を利用した宿泊客は定価の半額で乗船することができる。



2018アジア・太平洋マスターズゲーム

ベナン マレーシア | 9月7日~9月15日

場所 マレーシアベナン

アジアで初めて開かれる多項目スポーツマスターズゲームイベント。アーチェリーをはじめ、体操、バドミントン、バスケットボール、サイクリング、ダンススポーツ、サッカー、ゴルフ、ホッケー、ネットボール、射撃、ソフトボール、スカッシュ、水泳、卓球、テコンドー、テニス、ボウリング、バレーボール、重量挙げ、武術の計21種目の競技が繰り広げられる。



2018 上海ジャズフェスティバル

上海 中国 | 9月22日~9月23日

場所 中国上海西安キャンプCAMP3399

新感覚の上海ジャズフェスティバル。復古をテーマにニュースタイルとオールドスタイルをミックスしたBig city,JZ World,China Jazz Power,Rock'n'roll,Soundbox,Jazz Youthなど、6つのステージが用意される。

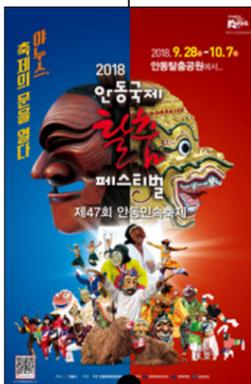


放生会

福岡 日本 | 9月12日~9月18日

場所 宮崎宮

福岡を代表する秋祭り。万物の生命を慈しみ殺生を戒める神事で鯉や鳩を放す。同時に商売繁盛や家内安全を祈り、多くの人が参拝する。約1キロの参道には500の露店が立ち並び、期間中は活気が満ちあふれる。



安東国際仮面劇フェスティバル2018

安東 韓国 | 9月28日~10月7日

場所 安東仮面劇公園

テーマは「守護神ヤヌス、フェスティバルの門を開く」。ヤヌスが門を開くことにより、日常から脱皮し、新しいフェスティバルの世界へと導くとのこと。開幕式をはじめ、中国、日本、インドネシア、タイなど13ヶ国14チームの海外仮面劇公演、韓国伝統仮面劇公演など、さまざま公演が繰り広げられる。市民参加の仮面劇競演大会、仮面描き、パレードもあり、日常で押さえていた感情や遊び心を、この祭りで思う存分解き放つことができるだろう。



2018 中国(大連)国際アパレル紡織品博覧会

大連 中国 | 9月14日~9月16日

場所 大連ワールドエキスポセンター (World Expo Center)

中華人民共和国商務部と大連市人民政府が共同主催という、国をあげたアパレル専門博覧会。2018大連国際アパレル紡織品博覧会は、さまざまなコラボレーションとクロスオーバーを試みながら、「政府+企業+市長」主導および参加といった新モデルに取り組む。東北アジアの流行のパロメーター的な役割を果たす、中国アパレル紡織品産業の



タイガフェスティバル

ウラジオストック ロシア | 9月29日~10月14日

場所 ウラジオストック

パシフィックロシア観光連合が主管し、近隣レストランや旅行会社、タイガ食品会社、公園、リゾートなどと共に開催するイベント。グルメ、観光、イベントの3つのテーマに分けて進められる。フェスティバル期間中、参加レストランではタイガで作られた料理やドリンクが、お手頃価格で楽しめる。



グリーンパーク秋のバラフェア

北九州 日本 | 10月2日~11月1日

場所 響灘緑地(グリーンパーク)

北九州市最大のバラ園があり、園内には320種、2500株のバラが咲き乱れるグリーンパーク。園内にはのんびりピクニックを楽しむことができる広大な「芝生広場」や、カンガルーをはじめとしたさまざまな有袋類に出会える「カンガルー広場(ひびき動物ワールド)」、色とりどりの木々や花、熱帯鳥、爬虫類、蝶が観賞できる「熱帯生態園」などもある。



2018 青島国際ビーチカルチャーフェスティバル

青島 中国 | 10月

場所 中国 青島

1992年から始まった青島国際ビーチカルチャーフェスティバルは、今年初めて海水浴場にて行われる。砂の彫刻大会、ビーチウェディング、ビーチバレーボール、ビーチ綱引きなど、さまざまなスポーツ文化イベントが繰り広げられる予定。



シンクロナイズフェスティバル2018

ジャカルタ インドネシア | 10月5日~10月7日

場所 ジャカルタPRJクマヨラン(カンビルEXPO)

毎年開催される音楽フェスティバルで、さまざまなジャンルの音楽が5つのステージで演奏される。自身が応援するミュージシャンの公演を見るために、毎年数万人の観客が訪れる。

第10回江陵コーヒー祭り

江陵 韓国 | 10月5日~10月9日

場所 江陵グリーン都市体験センターイーゼン (E-ZEN) および 江陵一円



「コーヒー都市とグリーンプラス成長」をテーマにした地球にやさしいコーヒー祭り。場内では使い捨てカップの使用が制限されているので、カップは持参していこう。今回のコーヒー祭りでは、100人100味パリスタパフォーマンス、江陵のさまざまなコーヒーショップや名所を訪ねてまわる「江陵コーヒー遊楽スタンプラリー」、コーヒーベルト国家の大使館とともに開くコーヒー文化体験、江陵パリスタアワード、江陵ハンドドリップアワードなどが開かれる。



2018 榮州ムソム一本橋祭り

榮州 韓国 | 10月6日

場所 慶州北道榮州市文殊面ムソム村

ムソム村は韓国を代表する水で囲まれた村。「水上に浮いた島」として、村全体が国の重要民俗文化財第278号に指定されている。祭りのテーマであり、ムソム村の象徴でもある一本橋は、コンクリート橋が架けられる30年前まで、村と対岸をつないでいた橋で、向こう側に渡ることができる唯一の手段だった。村では毎年祭りを開催し、伝統文化を継承している。先祖の生活を再現したムソム一本橋パフォーマンス、伝統喪興行列の再演、音楽会、ムソム村写真撮影大会など、さまざまな行事が用意されている。



2018海南島国際ロードレース大会

三亜 中国 | 10月下旬

場所 中国 三亜

天恵の地理的環境を備えた海南は、サイクルを楽しむのに最適な場所。今年で12回目を迎える海南島国際ロードレース大会は、海南島の18の市と県を通るルート。サイクリングの種目は、既存のコンチネンタルツアー2.2からツール・ランカウイ(2.HC)上がった。レースの様子は180数か国で生中継される。



博多旧市街ライトアップウォーク

福岡 日本 | 10月31日~11月4日

場所 博多旧市街の寺や庭園

博多旧市街に位置するお寺や庭園で行われるライトアップイベント。夜の闇に夢幻の世界が浮かび上がる幻想的な雰囲気を楽しむことができる。普段は立ち入れない場所も公開される。



第13回巨済島花祭り

巨済 韓国 | 10月27日~11月4日

場所 巨済市農業開発院

花と文化を楽しむ巨済を代表する秋祭り。農業開発院の芝広場などで、さまざまな秋の花を観賞することができる。芝広場には菊でつくった巨済青瓦台をはじめ、興南撤収作戦時に多くの命を助けた平和の象徴であるメルディスピクトリア号、巨済面岐城館、イルカ、パシウカジキ、タコなど、朝鮮海洋観光都市巨済の象徴物がさまざまな菊のオブジェになって展示されている。また、KNN社員バンドフェスティバル、伝統民俗芸術祭、青少年レッツロックコンサート、巨済縣令赴任行列の再現など、多彩なイベントが繰り広げられる予定だ。



第67回 おはら祭り

鹿児島 日本 | 11月2日~11月3日

場所 路面電車 高見馬場駅一帯

1949年に始まったおはら祭りは南九州最大規模のお祭り。2万5000人の踊り手が鹿児島を代表する民謡「おはら節」、「鹿児島ハンヤ節」、「渋谷音頭」にあわせて練り踊る「総踊り」などが観賞できる。



Moto GP マレーシア2018

クアラルンプール マレーシア | 11月2日~11月4日

場所 クアラルンプールセパン国際サーキット

毎年12万人を超える観客が集まる大規模なイベント。今年は約80のバイク関連ブースが設置されるため、レーシング以外のエンターテインメントも楽しめるという。ホンダ、ヤマハ、ドゥカティ、スズキ、アプリリアなど、主なバイクブランドと全世界の有名なライダーが集結する。



第4回保寧海苔祭り

保寧 韓国 | 11月2日~11月4日

場所 保寧市大川海水浴場マッド広場

大型キムパブ（海苔巻き）作りイベントをはじめ、海苔生産体験（海苔取り、海苔干し、海苔炙りなど）、海草美容パック作り、子どもキムパブ作り、シェフと一緒に作る海苔料理など、海苔で料理をしたり、食したり、さまざまな海苔体験が楽しめる。



2018 第11回丹霞山トレッキング

韶関 中国 | 11月3日

場所 中国韶関市丹霞山

生態環境と自然資源が豊富で、近年「アウトドアアクティビティー天国」として知られる韶関市。11回目を迎える丹霞山トレッキングには、中国国内をはじめ、香港、マカオ、台湾、アメリカ、イギリスのアウトドア旅行クラブ約8000人が参加する。



2018台中国際ダンスパレードフェスティバル

台中 台湾 | 11月9日~11月11日

場所 台湾台中市政府前広場およびサマー緑地公園

俳優と大衆と一緒にダンスをしながらパレードするイベント。3回目の今年は、関連学科を専攻している台湾の学生と民間企業を招請。地元の学校と企業が特別チームを組んで参加するという。また、日本、韓国、東南アジアからも世界的チームを招請し、交流する予定だ。

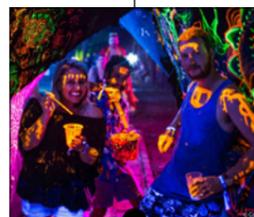


下関さかな祭、リトル釜山フェスタ、JA農業まつり（同時開催）

下関 日本 | 11月23日

場所 下関駅周辺

「スーパージャンボふく（河豚）鍋」など、美味しい海の幸が堪能できる「下関さかな祭」、韓国のグルメや伝統舞踊などが楽しめる「リトル釜山フェスタ」、地元の新鮮野菜の即売イベント満載の「JA下関農業まつり」などが下関駅周辺で同時開催される。



ベトナムQUESTフェスティバル2018

ハノイ ベトナム | 11月23日~11月25日

場所 ベトナムハノイソントイキャンプ場

美しい山間地域にあるソントイキャンプ場で開催されるベトナムを代表する音楽フェス。アートや環境に関するイベントも行われる。あたたかい気候、素敵な音楽、そしてドンモ湖の風景が織りなすロマンチックな雰囲気すべてが堪能できる。

TPO Members

86 city members, 45 industry members

CITY MEMBERS

- CHINA**
 - Chengdu
 - Qingyuan
 - Dalian
 - Foshan
 - Guangzhou
 - Hangzhou
 - Qingdao
 - Sanya
 - Shanghai
 - Shaoguan
 - Shenyang
 - Suzhou
 - Tianjin
 - Urumqi
 - Weihai
 - Yantai
 - Zhangjiajie
 - Zhaoqing
 - Zhengzhou
 - Liupanshui
 - Lianyungang
 - Dujiangyan
- CHINESE TAIPEI**
 - Kaohsiung
 - Taichung
 - Tainan
- THAILAND**
 - Bangkok
- VIETNAM**
 - Danang
 - Hai Phong
 - Hanoi
 - Ho Chi Minh
- RUSSIA**
 - Vladivostok
 - Irkutsk
- KOREA**
 - Andong
 - Boryeong
 - Busan
 - Busan Haeundae-gu
 - Busan Jung-gu
 - Buyeo-gun
 - Changwon
 - Chuncheon
 - Daegu
 - Daegu Jung-gu
 - Daejeon
 - Donghae
 - Gangneung
 - Geoje
 - Gimhae
 - Goyang
 - Gunsan
 - Gwangju
 - Gyeongju
 - Hadong-gun
 - Iksan
 - Incheon
 - Incheon Gangwha-gun
 - Jeonju
 - Namhae-gun
 - Pohang
 - Sokcho
 - Tongyeong
 - Ulsan
 - Ulsan Dong-gu
 - Ulsan Nam-gu
 - Yeongju
 - Jeollabuk-do
 - Ulju-gun
- PHILIPPINES**
 - Manila
- MALAYSIA**
 - Ipoh
 - Kota Bharu
 - Kota Kinabalu
 - Kuala Lumpur
 - Melaka
 - Penang
 - Taiping
- INDONESIA**
 - Jakarta
 - Surabaya
 - Yogyakarta
 - Bitung
- JAPAN**
 - Fukuoka
 - Kagoshima
 - Kitakyushu
 - Kumamoto
 - Miyazaki
 - Osaka
 - Shimonoseki
 - Takeo

INDUSTRY MEMBERS

- CHINA**
 - Guangzhou Garden Hotel
 - Guangzhou Star Cruises Co., Ltd.
 - GZL International Travel Service Ltd.
 - Shandong Channel International Travel Service Co., Ltd.
 - China Travel International (Xinjiang) Ltd.
 - China Comfort Xi'an International Travel Service Co., Ltd.
 - Dalian Gulian International Travel Service
 - CITS Guangdong
 - China Travel International Sanya Co., Ltd.
 - Hainan Gaoli Holiday Travel Service Co., Ltd
- JAPAN**
 - Kagoshima Convention & Visitors Bureau
 - Fukuoka Convention & Visitors Bureau
 - JTB Corp. Fukuoka Office
- KOREA**
 - BEXCO
 - Busan Tourism Association
 - Arum Travel Service Co., Ltd.
 - Cheongsong Travel Service Co., Ltd.
 - Road ABC Media Co., Ltd.
 - TourJapan Co., Ltd.
 - Intravel Ltd.
 - Haeundae Centum Hotel
 - Daegu Tourism Association
 - Lee Convention
 - Busan Tourism High School
 - The Korea Academic Society of Tourism and Leisure
 - Solar Travel Agency
 - BS FunTour
 - Benikea Jeonju Hansung Tourist Hotel
 - Sky Tour
 - JB Tour
 - Panworld Dream
 - Tour Fun Co., Ltd.
 - Wolseong E&C
 - Tongyeong Tourism Development Corporation
 - Stanford Hotel & Resort
 - Dongback Tour
 - Dongwon Royal Country Club & Resort
 - Ulsan College
- MALAYSIA**
 - Taiping Tourist Association
- MONGOLIA**
 - Ancient Nomads Tour Agency
- RUSSIA**
 - Gavan Tour-Center Co. Ltd
- U.S.A**
 - MCM Group Holdings Ltd.
- VIETNAM**
 - Haiphong Vanhoa One Member Limited Corporation
 - Haiphong Vocational College of Tourism
- INDIA**
 - Abroaders Consultancy India Pvt. Ltd.



**Tourism Promotion Organization
for Asia Pacific Cities**

TPO Contact Information

Address. TPO Secretariat, 8th Floor of Kwang-Eun Building, No.480 Suyeong-ro, Suyeong-gu, Busan 48314,

TEL. +82-51-502-2984~7 FAX. +82-51-502-1968

E-mail. secretariat@aptpo.org

Web Site. <http://www.aptpo.org>